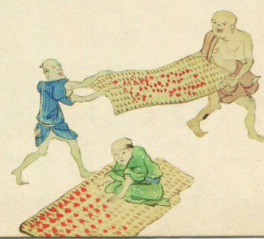
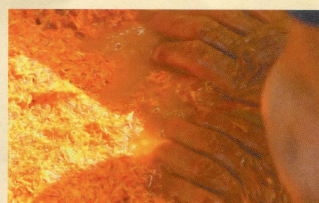
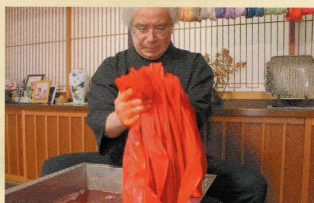




紅花の
守人

beni-moribito.com





手から手へと託される美しい巡りに、ため息しかこぼれません。
紅花を守る人々の尊い仕事に、心からの敬意を表します。

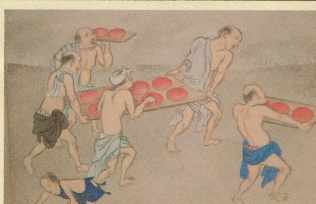
小川 糸 (作家)

「おもひでぼろぼろ」から30年余。
紅花と聞くと、いまだに心が騒ぎます。

鈴木 敏夫 (スタジオジブリ)

人々がなぜ紅花に魅了されるのか、
あの美しい紅の虜になるのか。
紅花を守り、その歴史を紡ぎ続ける方々のまっすぐな姿が
それを教えてくれます。

今井 美樹 (歌手)



あやしき紅に魅せられた紅花の守人たちが 織りなす奇跡の物語

中近東からシルクロードを経て中国に渡り、日本に伝わった紅花。皇室で珍重されたその色は、明治時代に入り化学染料の台頭により、また第二次世界大戦中に国によって栽培を禁止され継承の危機に瀕していた。しかし誰に頼まれるでもなく、山形の小さな農村の片隅で密かに守り継がれていたことによって、今では世界的な農業遺産として注目され始めている。

日光で色落ちが進んでしまうほどの繊細な紅色は、無数の花びらを収穫したとしても、その約1%しか紅の色素を取り出すことができない。奥深い色合いを引き出すために、手間ひまを惜しまない紅花農家、昼夜を問わず染めに没頭する染織作家、そして新しく継承するレシピを考案する料理家など、それぞれが守人として模索を続けている。

ナレーションはアニメ「おもひでぼろぼろ」でタエ子役の声を担当した、歌手で女優の今井美樹が参加している。監督は「世界一と言われた映画館」など、山形を舞台に数々の映画制作に携わってきた佐藤広一が4年の歳月をかけて撮影した。

めくるめく色彩巡礼の旅へと誘う本映画は、現代の屏風絵図として色褪せることのない物語を紡ぎ出している。

語り：今井美樹 唄：朝食や「紅花摘み唄」「最上川舟唄」

製作：映画「紅花の守人」製作委員会 / プロデューサー：高橋卓也 監督・撮影・編集：佐藤広一

音楽：小関佳宏 整音：半田和巳

配給：UTNエンタテインメント 2022年 / 日本 / 85分 / カラー / DCP beni-moribito.com



今井 美樹

1986年シングル「黄昏のモノローグ」で歌手デビュー。「瞳がほほえむから」「PIECE OF MY WISH」「PRIDE」など数々のヒット曲を発表。1991年公開の映画「おもひでぼろぼろ」では、主人公・タエ子役の声優で参加。

**9/3 (土)、ポレポレ東中野にて
ロードショー他全国順次公開**

初日は今井美樹さん、監督の舞台挨拶予定 (詳細やチケット発売方法などは後日発表！)

ポレポレ東中野

03 3371 0088
pole2.co.jp

